２０２６年 第８週　（２月１６日～２月２２日）の感染症発生動向調査情報

＜今週の内容＞

１　インフルエンザについて（※依然、警報レベルとなっています。）

２　管内の感染症発生状況（インフルエンザ以外のもの）

３　麻しんについて

１　インフルエンザについて

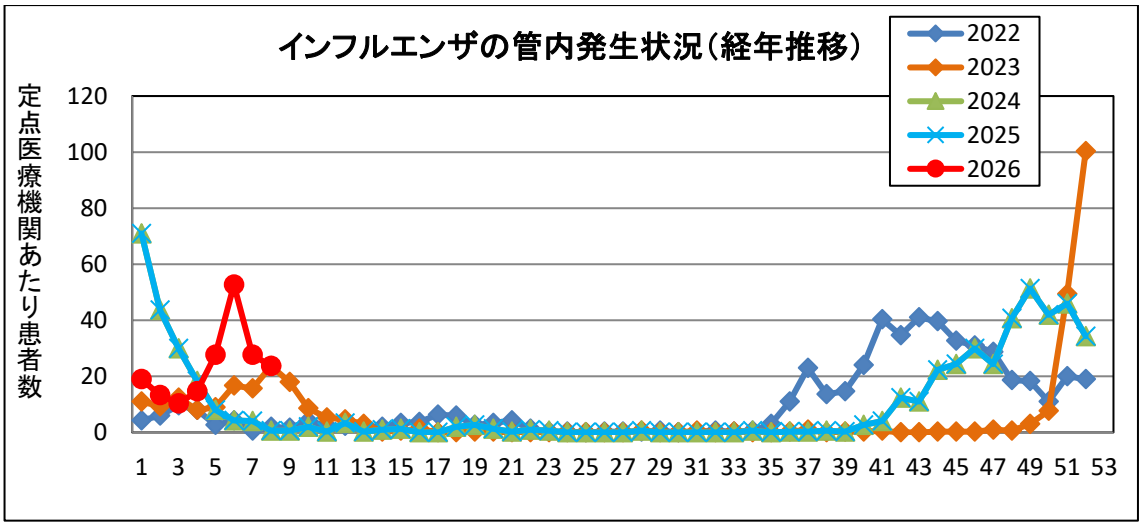
管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週 23.67 人で、先週（27.67 人）から減少しましたが、終息基準値（10.00 人）以上であり、依然、警報レベルとなっています。兵庫県内の定点あたり患者数も今週 31.66 人で、先週（41.18 人）から減少しました。

直近の５週間に県内の定点医療機関から報告された患者 29,566 人の年齢分布では、5～9 歳が 38%、10～14 歳が 31%で、15 歳未満が全体の 82%を占めています。

また、県内の学校等において、当所管内分４件を含め、今週 310 件（先週 542 件）の臨時休業が報告されています。

社会福祉施設等においては、今週６件（先週６件）の集団発生が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

インフルエンザ疾患の発生状況（学級閉鎖・集団発生）

兵庫県インフルエンザ情報センター

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

インフルエンザ

２　管内の感染症発生状況（インフルエンザ以外のもの）

（１）管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第８週は、報告はありませんでした。

（２）定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（２０２６年８週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID－19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
71	23.67	2	1	–	–	–	–	9	4.5	–	–	–	–	–	–	–	–	4	1.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4（ロタウイルス）		急性呼吸器感染症	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
–	–	1	0.5	…	…	…	…	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	278	92.67

※2025 年４月７日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

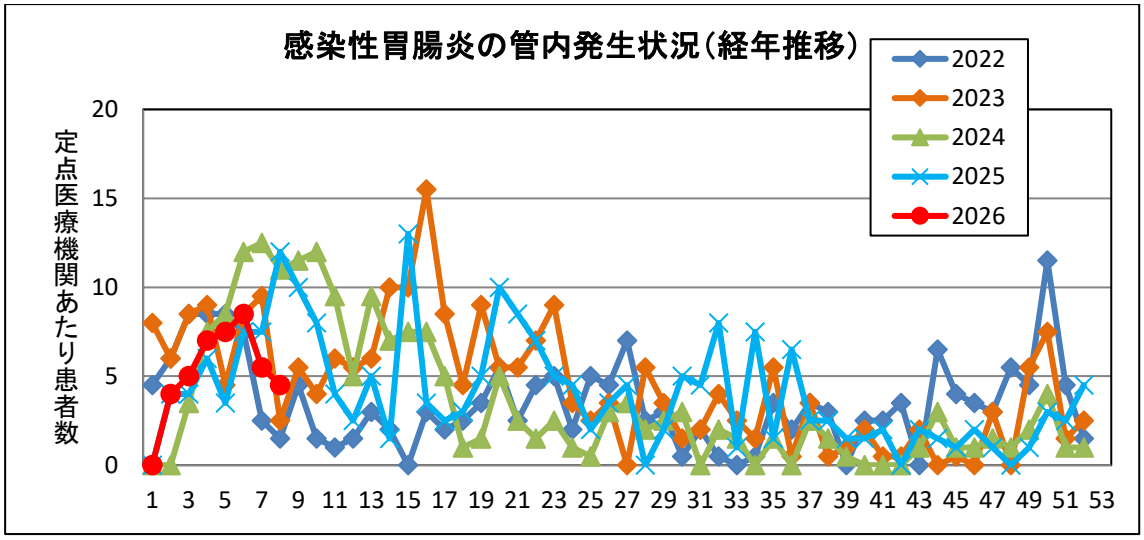
◆厚生労働省ホームページ

急性呼吸器感染症（ARI）

令和7年度　今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が 4.50 人で、先週（5.50 人）から減少し、兵庫県では 6.72 人で、先週（6.53 人）から増加しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

感染性胃腸炎について

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

感染性胃腸炎

３　麻しんについて

県内において先週１人（神戸市保健所管内）の麻しんの報告がありました。現在、海外における麻しんの流行が報告されており、インドネシアをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しています。今後、輸入事例のさらなる増加や、国内におけるイベントや不特定多数が集まるマス・ギャザリング環境を契機とした国内感染伝播の発生が懸念されます。

麻しんウイルスは極めて感染力が強く、約 10～12 日の潜伏期間を経て発症します。麻しんが疑われる場合は外出を控え、医療機関に事前に連絡してから受診してください。感染予防対策として、麻しん含有ワクチンの接種が重要です。また、医療機関の皆様におかれましては、麻しんの疑い例を診察された場合は、最寄りの健康福祉事務所（保健所）へご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

麻しん（はしか）について

◆厚生労働省ホームページ

麻しん（五類）

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

麻しん